

「(子どもと先生で) 3つのことばさがしのぼうけん」 ゲーム説明書


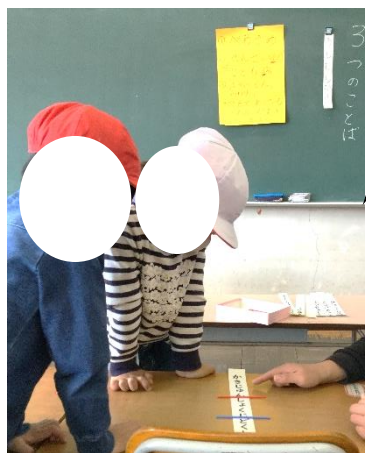
「3つのことばをみつけよう」をゲーム化した教材

〔目標〕

清音、濁音・半濁音、長音、促音、拗音、拗長音、カタカナの語を視覚的なまとまりとして正確で速やかな単語認識の力を高める。

〔所要時間〕 10分

〔準備品〕

○3つのことばが書かれたカード(用紙)	○紅白帽子(2人組を区別できるもの)	○かぞえ棒
 <p>※ワード入力、A4をA3に拡大し切る。</p> <p>写真A</p>	 <p>ルールの確認</p> <p>写真B</p>	<p>・くぎるものなら、別のものでも良い。</p> <hr/> <p>○タイマー</p> <p>・時間(1分～5分)で交代</p> <p>・時間は実態で調整</p>

〔やりかた〕

- ① それぞれの児童用机の上に、3つのことばが書かれた紙をおく。(枚数は机の数に合わせ、20～30枚程度)
 - ② ペアを決める。(となりの席の児童だとわかりやすい。ペアの工夫もできる。)
 - ③ 先生役は赤帽子をかぶり、子ども役は白帽子をかぶる。
 - ④ 写真Bのように、スタートの合図で空いている机に行く。
 - ⑤ 子ども役は、写真Aのように、2本のかぞえ棒で、3つのことばができるように区切る。
 - ⑥ 子ども役は、3つのことばを言う。先生役は、「正解」「違います。」と判定する。
 - ⑦ 別の机に移動し、④⑤⑥を時間まで繰り返す、子ども役と先生役を交代する。
- ※ 必要に応じて、分からなかった語彙について意味を確認する。

〔評価〕

- ① 子ども役、先生役ともに、3つのことばに区切って読むことができたか。
- ② 「ことばさがしのぼうけん」と題して、体を動かしながら多くのことばに触れることができたか。

〔その他〕

- ① この教材は、MIM教材にある言葉で作成している。
- ② 「3つのことばと絵カード」の教材(長野県上田市教育委員会作成)も使いやすい。
- ③ 「(子どもと先生で)絵に合うことばさがしのぼうけん」と題して、同様のやり方で、MIM教材の「ことば絵カード」を、児童用机に置いて行うことができる。